

授業 科目名	【 G 】 【 H 】 【 I 】	— 法学政治学演習 I・II Q 法学政治学演習 I・II Q	区 分 選 択 必 修	開講年次	【 G 】— 【 H 】 2 【 I 】 2	単位数	【 G 】— 【 H 】 2+2 【 I 】 2+2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	政治学や国際関係論についての基礎知識や素養を身につける				担当者	大西香世		
授業概要	【概要】	政治学や国際関係論に関する基礎的な知識を身につける。履修者は、各自が関心のある時事問題のテーマを1つ選び、1人ずつ発表する。発表後は、履修者全員でそのテーマについて議論し、問題の解決方法等について考察する。また、履修者はレポートを作成し、提出する。						
	【到達目標】	政治学や国際関係論についての基礎知識や素養を身につける。論理的な文章を書く方法や発表の仕方、レジュメの作成方法を学ぶ。						
履修条件	「政治学入門」「国際関係入門」を履修していることが望ましい。							
アクティブ ラーニング の方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP (ディプロマ・ポリシー) ①	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ②	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ③	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ④	- (当てはまらない)						
他科目との 関連性	政治学入門、国際関係論入門							
教科書	特になし。必要に応じて資料を配布する。							
参考書	特になし。必要に応じて資料を配布する。							
評価方法	授業への参加態度 (50%)、課題 (50%) で評価する。							
フィードバック 方法	原則として授業内で解説を行います。質問はメールでも随時受け付けます。							
評価基準	授業に積極的に参加し、課題を達成し、学修した内容をよく理解し身に付けた者はその程度に応じて「S」または「A」、不足がある者はその程度により「B」または「C」とし、参加度または達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、6回以上の欠席や課題未達成などの場合は「F」とする。							

授業 科目名	【 G 】	—	区 分	開講年次	【 G 】—	単位数	【 G 】—
	【 H 】	法学政治学演習 I・II Q	選 択 必 修		【 H 】 2		【 H 】 2+2
	【 I 】	法学政治学演習 I・II Q			【 I 】 2		【 I 】 2+2
授業内容	履修生が各自、政治学や国際関係論に関する興味のある時事問題に関するテーマを選び、それについて調べ、順番に発表を行う。質疑応答後、そのテーマに関して履修者全員でグループ・ディスカッションし、問題の具体的な解決方法などを考察する。履修者は、発表した内容を元に学期末にレポートを作成し、提出する。						
予習内容	発表者は発表準備をすることが必須です。また、レポート作成には相当の準備時間が必要です。毎回90分程度の予習時間が目安となります。						
復習内容	各回のゼミで学んだ内容を復習する、その日議論した内容の中で知らないこと、考察を深めたいこと等があれば調べる等、毎回90分程度の復習時間が目安となります。						
その他	特になし。 ※H・I加：【 Iは選択必修（A）・IIは選択必修（B）】						